

令和5年度環境審議会（R5.6.1）および鳥獣専門委員会（R5.8.22）での主なご意見・検討結果

資料2

●戸隠山鳥獣保護区特別保護地区

委員	ご意見等	対応・確認
清野委員（環境審議会） 辻委員（環境審議会）	・鳥獣の生息への影響を防止するための普及啓発活動が重要	（専門委員会 現地調査で普及啓発状況を確認）
梅田委員（環境審議会） 佐藤委員	・イノシシによる被害状況の把握も必要ではないか。	・戸隠森林植物園周辺では、イノシシによる掘り返しが見受けられるが、農林業被害や人身被害等の影響はない。
水谷委員 （信州大学教育学部附属 志賀自然教育研究施設 助教）	・生息する鳥獣類について、鳥獣にとって良好な生息環境であるか確認することも大切である。鳥獣類のモニタリング調査結果などがあれば示してほしい。	（戸隠森林植物園ボランティアの会より聞き取り） ・戸隠森林植物園周辺では、鳥類の種類は豊富である。一方で、数は減少傾向であると感じている。
佐藤委員 （（一社）長野県猟友会 常務理事兼事務局長）	・鳥類については、大学や団体等の収集しているデータを活用できればよいのではないか。	
佐藤委員	・保護管理方針について、戸隠森林植物園ボランティアの会も普及啓発活動や環境教育に取り組んでいただいている。	・意見の趣旨を踏まえ、保護管理方針の一部を修正。

●北大塩狩猟鳥獣捕獲禁止区域（ニホンジカ、イノシシを除く）

委員	ご意見等	対応・確認
打越委員（環境審議会） 水谷委員 （信州大学教育学部附属 志賀自然教育研究施設 助教）	・ニホンジカ、イノシシ以外の動物の錯誤捕獲については、管理の徹底が大切である。	・意見の趣旨を踏まえ、管理方針の一部を修正。
上原委員 （佐久大学 客員教授）	・山火事のあった霧ヶ峰では、緑が回復してきていることを受けて、今後シカが増える原因になってくるのではないか。	・生息状況については、赤外線ドローン等で調査を実施する予定。
水谷委員	・狩猟者の入り込み状況を把握することが必要ではないか。	・地元猟友会員（茅野市）が狩猟期間中、10～15名程度で狩猟している。
水谷委員	・ニホンジカやイノシシを除くとした効果として、捕獲状況を示してほしい。	・被害状況に指定区域を含むメッシュ内捕獲数を追加。